

松浦市ひゃーし景観まちづくり推進方策

所在地：長崎県松浦市
Location: Matsuura city, Nagasaki prefecture

事業主体：松浦市役所都市計画課
Project Implementing Body: City Planning Division,
Matsuura City Hall

事業期間：2012年度-
Term: 2012 -

松浦市の概要



- 九州の北西部に位置し、人口24,581人、面積130.38km²（2014年4月1日現在）
- 平成18年（2006）1月1日に1市2町（松浦市、福島町、鷹島町）で合併し、伊万里湾を囲むように広がった。

松浦市の景観的特徴



土谷棚田



(引用) 松浦市景観基本計画

星鹿漁港



松浦市(<http://www.city-matsuura.jp/>)

県指定史跡松浦党梶谷城跡



松浦市(<http://www.city-matsuura.jp/>)

市指定無形文化財星鹿ジャンガラ

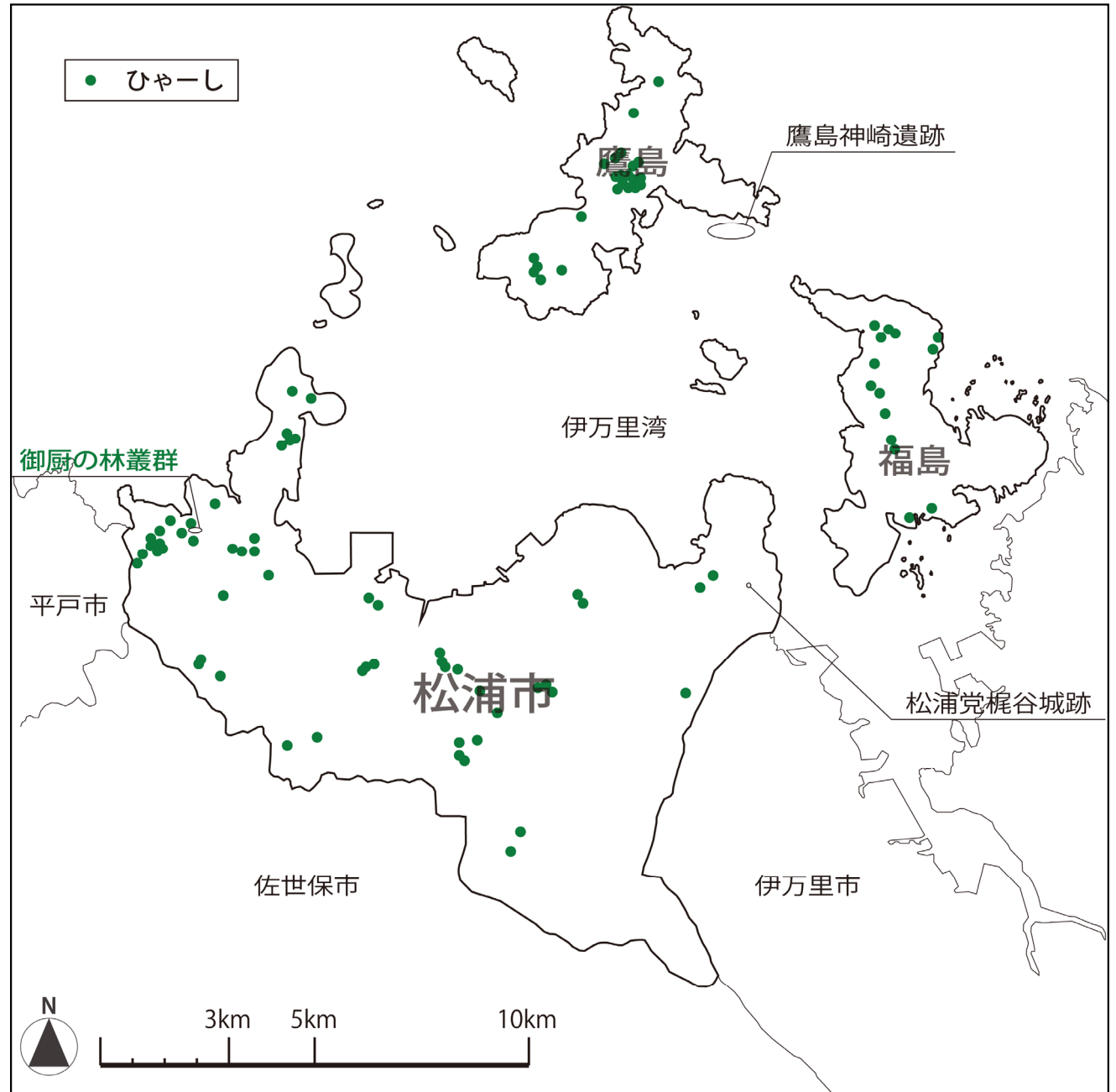
→棚田や段々畑などの田園風景が多く見られ、海岸沿いには漁港や漁業集落がある。また松浦党や元寇に縁のある史跡、浮立やジャンガラといった伝統ある有形・無形文化財も多い。

ひゃーしとは



- 松浦市には、マキやツバキで造られた高生垣が数多く分布しており、地元では「ひゃーし」という呼称によって親しまれている。
- 平成16年には、松浦地域の景観を象徴する特徴的な造形であることから「御厨の林叢群」が長崎県まちづくり景観資産に登録された。 4

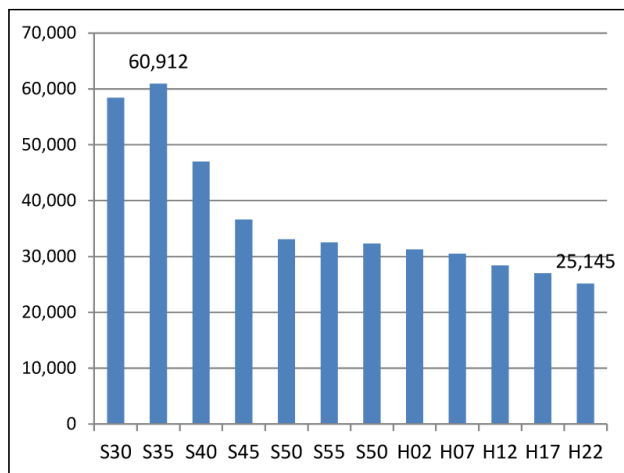
ひゃーしとは



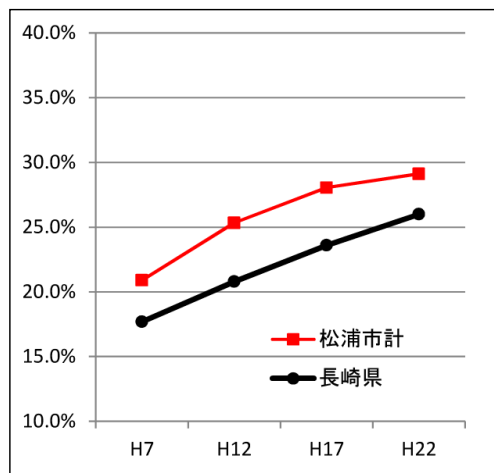
- 門をアーチ状に形づくるなど、いくつかの特徴的な形態があり、所有者それぞれの工夫がなされている。
- 福島・鷹島地域も含め市全域にわたり数多く分布している。

松浦市景観基本計画策定の経緯

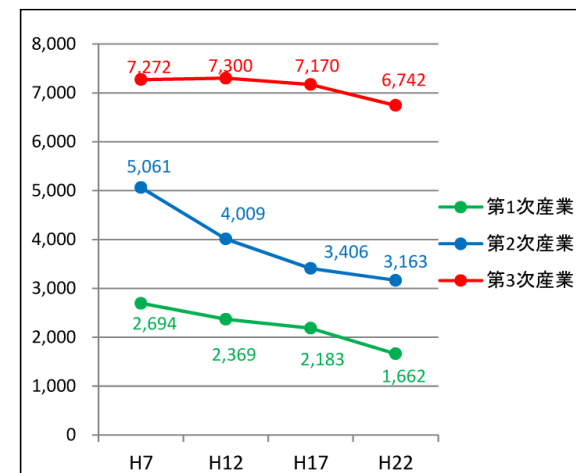
- 人口減少や少子高齢化、第1次産業就業者人口の減少及び後継者不足、耕作放棄地の増加が進んでおり、**松浦らしい農漁村の生活景観が失われる**ことが懸念されている。



国勢調査人口の推移



65歳以上人口比の推移



産業別就業者数の推移

- 松浦市は、平成24年（2012）3月に景観行政団体へと移行し、平成25年（2013）3月には市の美しい自然風景や町並みの保全活用に関する方針を示すための「**松浦市景観基本計画**」が策定された。

日付	項目	主な内容	
平成24年度	10/1・2	第1回松浦市景観基本計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察会 ・松浦市景観基本計画策定の進め方
	11/8	第2回松浦市景観基本計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・松浦市景観基本計画策定の目的と進め方 ・地域の景観を維持しているまちづくり活動 ・市民意向反映の取り組み ・意識啓発の取り組みについて
	1/18	第1回松浦市景観基本計画庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・学識者（松浦市景観基本計画策定委員会 座長）による講話「景観を活かしたまちづくりについて」 ・景観計画策定のスケジュール ・松浦市景観基本計画策定の進め方 ・松浦市景観基本計画の骨子
	1/24	第3回松浦市景観基本計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・松浦市景観基本計画素案について ・景観シンポジウムについて
	2/15	第2回松浦市景観基本計画庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・松浦市景観基本計画の素案
	2/23	景観シンポジウム「松浦の景観のいまとこれから」 第4回松浦市景観基本計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 【景観シンポジウム】 ・基調講演「景観を活かしたまちづくりのすすめ」 ・松浦市景観基本計画について ・パネルディスカッション 【第4回松浦市景観基本計画策定委員会】 ・松浦市景観基本計画素案について
平成25年度	4/23	第5回松浦市景観基本計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回松浦市景観基本計画策定委員会議事内容の確認 ・パブリックコメントについて（報告） ・松浦市景観基本計画（案）について ・景観シンポジウムについて（報告）

→策定委員会（計5回）ならびに庁内検討会（計2回）において、景観基本計画策定に係る検討・協議・調整がなされた。

施策の展開方針

(引用) 松浦市景観基本計画

平成 25 年度

平成 26 年度以降

(仮称) 松浦市景観基本計画推進委員会による景観まちづくりの進行管理
実施計画の相互調整・次に取り組むべきテーマ・エリアの検討

「テーマ別取り組み」

(仮称) ひゃーし景観まちづくり協議会
具体的な施策の協議・検討

実施計画

実施計画に基づき施策を実施

効果を具体化しながら
次のテーマへ展開

全市にわたって共通するテーマごとに
協議会を順次設置

- ・棚田をテーマとした景観まちづくり
- ・水辺をテーマとした景観まちづくり
- ・眺望を活かした景観まちづくり
- ・歴史を活かした景観まちづくり など

具体的な施策の協議・検討

実施計画

各テーマの実施計画に基づき
施策を実施

それぞれの取り組みの中で議論した結果を
反映しながら順次展開

「エリア別取り組み」

(仮称) 福島地域景観まちづくり協議会
具体的な施策の協議・検討

実施計画

実施計画に基づき施策を実施

(仮称) 鷹島地域景観まちづくり協議会
具体的な施策の協議・検討

実施計画

実施計画に基づき施策を実施

効果を具体化しながら
次のエリアへ展開

エリアごとに協議会を順次設置

- 〔星鹿・御厨・志佐・上志佐
調川・今福〕

具体的な施策の協議・検討

実施計画

各エリアの実施計画に基づき
施策を実施

景観を守り・活かすための意識啓発や人材育成（継続的に実施）

「住み続けたい・住んでみたい・訪れてみたい・故郷に帰りたい」魅力ある松浦

松浦市景観基本計画

→ひゃーし景観まちづくりは、松浦市が抱える課題に対応する必要性・緊急性が高く、市全域に共通するテーマとして位置付けられており、先導的に取り組みが行われる施策である。

ひゃーしの現状と課題

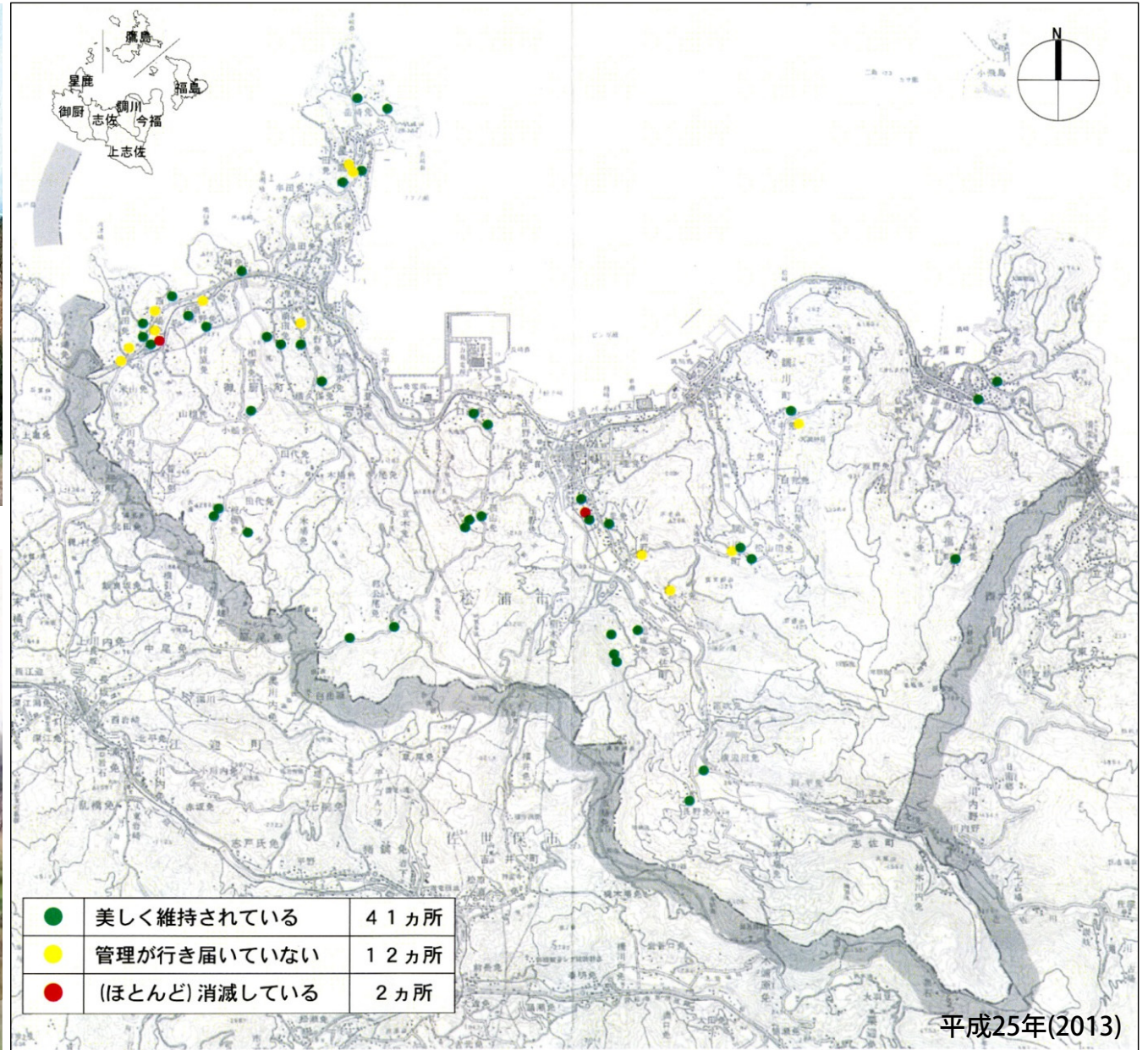
(引用) 松浦市作成資料



平成13年(2001)



平成25年(2013)



平成25年(2013)

□ 写真のように、近年では、所有者の高齢化や後継者不足により管理が行き届いていないものが増えており、ひゃーしは減少と荒廃の危機に瀕している。

→このような問題を解決するためにも、ひゃーしが有する価値の検証、共有、さらに保全活用への展開が必要とされている。



松浦市内で見られる巨大な生け垣の「ひゃーし」
＝同市御厨町

松浦の景観保全

松浦市は美しい自然風景や町並みの保全活用に向けた指針となる景観基本計画の案をまとめた。市内各地に点在する「ひゃーし」と呼ばれる高い生け垣などをモデルケースとし、新年度から具体策を協議する。

まず「ひゃーし」から

市が基本計画案 「住みたい」「訪ねたい」地域へ

市は昨年10月、市民代表や町づくりの専門家を交えた景観基本計画策定委員会を設置。市民アンケートを踏まえ、重視すべき景観や課題を話し合ってきた。

計画案では、同市の特性に▽伊万里湾を取り囲む美しい海岸線▽棚田や漁港といった農漁業の営みがつくり出す風景▽鎌倉時代の元寇に代表される史跡―などを挙げ、これらを維持する活動の担い手の不足や高齢化を問題視。課題を克服し、「住んでみたい」「訪ねてみたい」と思う地域にすることをビジョンに掲げた。

まず、ひゃーしのほか福島地域と鷹島地域に絞り、保全に関するルール作りや支援策を盛り込んだ実施計画を取りまとめる。鷹島は元寇船が見つかった鷹島神崎遺跡の保存管理計画が策定された後、議論に入る。

計画案は市ホームページや市役所などで閲覧でき、市は内容について市民から意見を募るパブリックコメントを26日まで実施中。問い合わせは市都市計画課(電0956・72・111)。(原司司)



松浦の高生垣、ひゃーし(林叢と書くらしい)は横や橋でつくられた、高さ2〜4m、幅1mほどの生垣。松浦全域に点在し、特にこの御厨町に多く見られる風景だという。その意匠は多様で、防風、防潮、外からの目隠しや自然の空調機能に加え、美しい景観をかもし出している。防風林だけでなく、千葉や三重、宮城、富山ほか沿岸の各地で見られるものだが、いっそうこうした地域を束ね、「ひゃーし同盟」でも結成してはどうだろう。

295 ひゃーし
(長崎県松浦市御厨町)
撮影者・島本佳枝さん

藤田洋三
fujita yosuzou

それは、暮らしと風土が生んだ庶民の遺産。

世間遺産

俗世間篇

建築家なしの名土木から
無業歴過剰な迷建築まで、306物件!

石川社発行 本体2780円+税

→景観基本計画策定について記載された長崎新聞紙面。また以前、暮らしと風土が生んだ庶民の遺産『世間遺産』のひとつとしてひゃーしが取り上げられた。

平成25年度のプロセス内容

日付	項目	主な内容
4/23	現地踏査・ひゃーし所有者（1名）へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ひゃーしを設けた経緯 ・剪定について ・ひゃーしを通じた地域のつながりについて
7/9	福大・九大打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・福島地区景観まちづくりについて ・当面の日程について
7/30・31	ひゃーし所有者（1名）へのヒアリング調査 事務局協議（3者）	<ul style="list-style-type: none"> 【ひゃーし所有者（1名）へのヒアリング調査】 ・ひゃーしの歴史 ・維持管理について ・ひゃーしの良い点 ・価値の認識 ・今後の維持について <ul style="list-style-type: none"> 【事務局協議（3者）】 ・事務局顔合わせ ・第1回協議会の参加者候補，議事次第案の確認 ・今年度のスケジュール確認
9/25	松浦史料博物館学芸員（1名）へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ・平戸藩の歴史について ・史料調査
10/3・4	第1回ひゃーし景観まちづくり協議会 事務局協議（3者） ひゃーし所有者（2名）へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 【第1回ひゃーし景観まちづくり協議会】 ・委員紹介 ・ひゃーしの分布と分類結果について ・ひゃーし所有者へのヒアリング調査結果について ・意見交換 【事務局協議（3者）】 ・第1回協議会の議事内容確認 ・第2回協議会の議題について ・今後のスケジュール確認 ・景観条例について <ul style="list-style-type: none"> 【ひゃーし所有者（2名）へのヒアリング調査】 ・ひゃーしの機能 ・ひゃーしの歴史 ・ひゃーしの維持管理の現状 ・ひゃーしに対する認識 ・今後のひゃーしの維持について ・その他
11/6	平戸市武家屋敷居住者（2名）へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ・古写真，絵図の収集 ・武家屋敷の視察
11/22	第2回ひゃーし景観まちづくり協議会 事務局協議（2者） ひゃーし所有者（1名）へのヒアリング調査（再） 平戸市武家屋敷居住者（1名）へのヒアリング調査（再） 平戸市在住者（1名）へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 【第2回ひゃーし景観まちづくり協議会】 ・継続のヒアリング調査結果について ・他地域の生垣と松浦ひゃーしとの比較調査について ・意見交換 【事務局協議（2者）】 ・ひゃーしの呼称について ・第2回協議会の議事内容確認 ・第3回協議会の議題について ・シンポジウムの調整 <ul style="list-style-type: none"> 【ひゃーし所有者（1名）へのヒアリング調査（再）】 ・ひゃーしの呼称について <ul style="list-style-type: none"> 【平戸市在住者（1名）へのヒアリング調査】 ・ひゃーしの呼称について ・生垣の機能について ・生垣の歴史について <ul style="list-style-type: none"> 【平戸市武家屋敷居住者（1名）へのヒアリング調査（再）】 ・ひゃーしの呼称について ・生垣の機能について ・生垣の歴史について
2/13	第3回ひゃーし景観まちづくり協議会 第1回松浦市景観基本計画推進委員会 事務局協議（3者）	<ul style="list-style-type: none"> 【第3回ひゃーし景観まちづくり協議会】 ・今年度の調査結果まとめ報告 ・松浦市景観まちづくりシンポジウムについて ・今後の活動予定について 【事務局協議（3者）】 ・松浦市景観まちづくりシンポジウムについて <ul style="list-style-type: none"> 【第1回松浦市景観基本計画推進委員会】 ・課長挨拶 ・委員紹介・職員紹介 ・松浦市景観基本計画について ・第1～3回福島地域景観まちづくり協議会の報告 ・第1～3回ひゃーし景観まちづくり協議会の報告 ・景観まちづくりに係る庁内での取り組み ・景観条例について ・「松浦市景観まちづくりシンポジウム ～『ひゃーし』の景観とまちづくりへの可能性～」について
2/23	松浦市景観まちづくりシンポジウム 『「ひゃーし」の景観とまちづくりへの可能性』	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁技官による基調講演『魅力ある風景を未来に－「ひゃーし」がある景観地－』 ・ひゃーしに関する調査結果 ・パネルディスカッション

→ひゃーしの歴史や機能等を明らかにするためにヒアリング調査や文献調査を行った。またひゃーし景観まちづくり協議会において調査結果の報告を行い、それらを踏まえたうえで協議会委員による協議・検討がなされた。

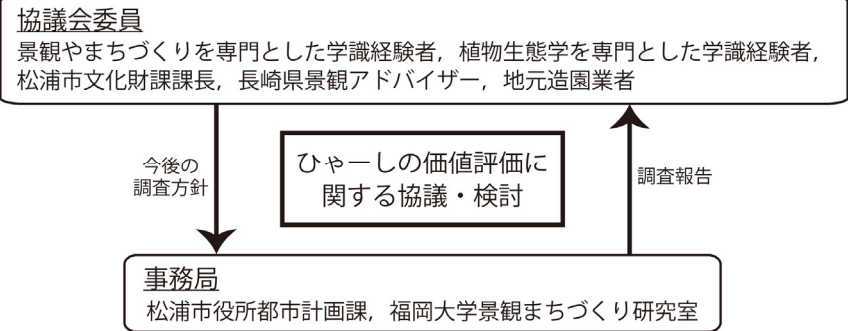
協議の様子

→ひゃーしの価値付けを行ううえで、調査報告等を踏まえた協議やシンポジウムが実施された。



→ひゃーし景観まちづくり協議会

ひゃーしをテーマとした景観まちづくりの推進にあたり「ひゃーし景観まちづくり協議会」が設置された。平成25年度は、専門家によってひゃーしの価値評価に関する協議・検討が行われた。平成25年10月に発足し、平成26年2月までに計3回開催された。



→松浦市景観まちづくりシンポジウム

平成26年2月に松浦市景観まちづくりシンポジウム『「ひゃーし」の景観とまちづくりへの可能性』が開催された。本シンポジウムでは、文化庁技官・鈴木地平氏による全国の文化的景観を事例とした基調講演やひゃーしに関する調査結果報告が行われた。有識者によるパネルディスカッションでは、松浦市のひゃーし景観まちづくりと地域活性化への可能性について議論された。

調査の様子

→ひゃーしが持つ価値を明らかにするために、ヒアリング調査や文献調査を実施した。

ひゃーし所有者へのヒアリング調査



→ひゃーし所有者へのヒアリング調査

ひゃーし所有者に対してヒアリング調査を実施し、ひゃーしの歴史や機能、維持管理の現状、ひゃーしに対する価値認識などについて把握した。平成25年度に計5回実施した。

絵図や古写真に関する調査



→絵図や古写真に関する調査

ひゃーしの歴史や起源を明らかにすることを目的に、古写真収集家や武家屋敷居住者、松浦史料博物館学芸員に対して絵図や古写真に関する調査ならびにヒアリング調査を実施した。

ヒアリング調査結果 —歴史について—

「自宅周辺のひゃーしは生まれた頃
(大正12年)には既に存在していた」
(所有者B氏／90歳男性)

「自分が小さい頃からあった」
「寺子屋だった地に武家の分家として移り
大正5年ごろに生垣としてマキの木を植えた」
(所有者E氏／90歳男性)

大正時代にはひゃーしが存在していた

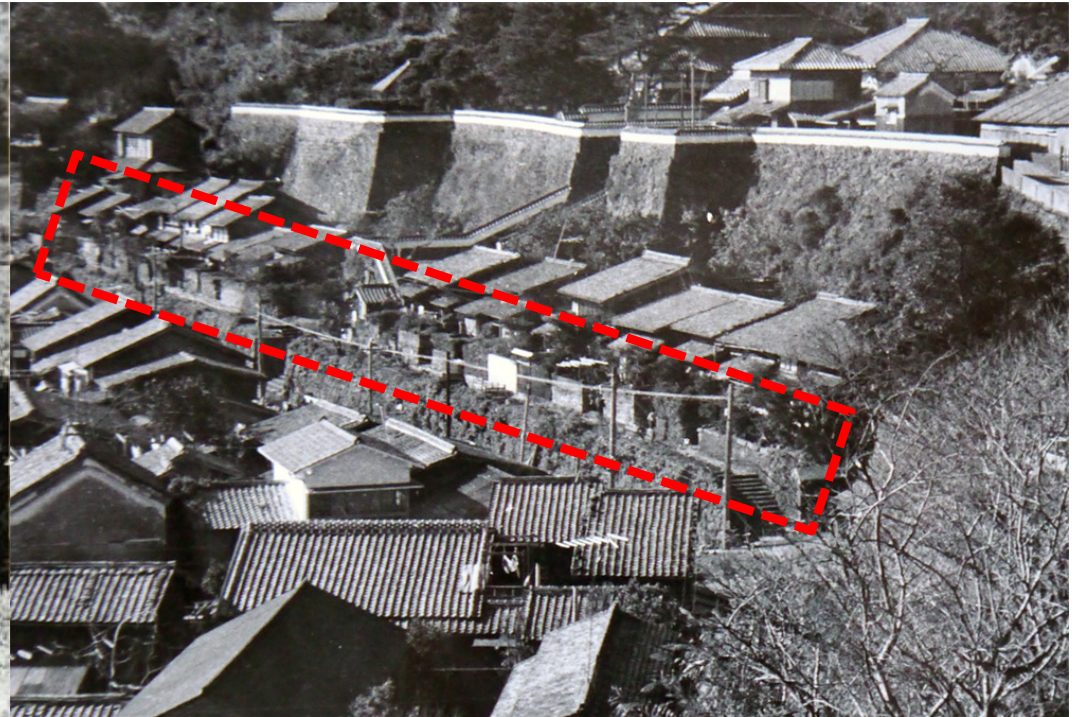
「松浦同様、平戸にもイヌマキの生垣が多い」
「平戸藩は規律が厳しく、百姓は華美な屋敷を
持つことができなかった」
「もし江戸時代をひゃーしの起源とすると
武家などの裕福な階級によるものだろう」
(松浦史料博物館学芸員C氏)

五十石以上の侍は城下に住居させ、屋敷も
与えられた。(中略)地方に居住する侍を郷士と称し家
禄を受け奉公しながら農耕に従事した。
(『松浦市史』より引用)

ひゃーしのルーツは
平戸藩の武士(郷士)によるものではないか

昭和30年代の平戸市内で撮られた写真

(写真提供) 平戸市在住〇氏



→赤枠で記しているところにひゃーしのような生垣が写っており、この時代には既に生垣を剪定する文化があることが分かる。

「亀岡と平戸年中行事絵巻」例祭御幸行列図（明治期に描かれた絵図）



(引用) 平戸市史絵図編 絵図にみる平戸

→江戸時代の平戸城下の様子を表しており「マキガキ」と記された生垣が描かれている。

併設物の構成要素による分類

→松浦住まいづくり研究会の研究成果を基に分類を行った結果、半数以上が「生垣と石垣」であった。

分類	住所	剪定業者	剪定頻度	剪定時期	家屋建設年	庭建設年	ひゃーしの高さ(m)	ひゃーしの 周長(m)	ひゃーしの 幅(m)	併設物の 高さ(m)
A	松浦市 御厨町 西木場免	業者	年1回	秋	築100年	築100年	5.0	50.0	1.5	0.4
A	松浦市 御厨町 西木場免	業者	年2回	春秋	昭和22年	昭和22年	3.5	69.0	1.0	-
A	松浦市 御厨町 西木場免	業者	年2回	春秋	昭和47年	昭和53年	3.3	105.9	1.0	-
A	松浦市 御厨町 高野免	業者	年1回	10月	大正7年	築100年	2.5	107.4	0.8	-
A	松浦市 御厨町 前田免	自分	年1回	秋	昭和47年	築100年	4.3	198.0	1.8	-
A	松浦市 御厨町 西田免	業者	年1回	正月前	昭和47年	築100年	2.9	64.5	0.9	0.6
A	松浦市 志佐町 里免	自分	年2回	5月と12月	平成6~7年	築60年	2.1~2.2	37.2	1.1	-
A	松浦市 志佐町 里免	自分	年1回	8月	築17年	築17年	2.2	50.8	1.1~1.5	-
A	松浦市 御厨町 板橋免	業者	年2回	10月頃	昭和47年	昭和47年	5.0~6.0	69.8	1.5	1.0
A	松浦市 調川町 中免	自分	年1回	10月頃	昭和21年	昭和25年	1.6~4.1	113.7	0.6~1.1	-
A	松浦市 調川町 松山田免	自分	年1回	10月頃	昭和21年	昭和25年	1.4~3.1	90.0	0.6~1.2	0.2~2.6
A	松浦市 御厨町 郭公尾免	業者	年2回	10月頃	築40年	築40年	1.4~3.3	109.5	1.5~	-
A	松浦市 今福町 東免	自分	定期的		(移築後)40年	築60~70年	3.2	25.9	0.9~1.7	-
A	松浦市 御厨町 普住免	業者	年1回	10月頃	築200年	築200年位	6.7	47.2	1.9	-
A	松浦市 御厨町 川内免	業者	年1回	10月頃	昭和25年	築50~60年位	3.0~4.3	96.5	0.8~2.0	0.7
A	松浦市 御厨町 川内免	業者	年1回	10月頃	築50年位	築50年位	3.7	13.6	1.5	-
A	松浦市 志佐町 栢木免	業者	年1回	10月頃	昭和20年改築	昭和20年改築	1.2~3.5	105.0	1.0~2.1	0.5
B	松浦市 星鹿町 下田免	自分	年1~2回	正月とお盆前	昭和52年	昭和47年	2.5	50.0	1.5	0.5
B	松浦市 星鹿町 下田免	自分	4年に1回		明治35年	明治35年	5.5	20.0	1.0	2.8
B	松浦市 星鹿町 下田免	業者	年1回	11月頃	築150年	昭和25年	5.5	20.0	1.0	1.7
B	松浦市 御厨町 西木場免	自分	年2回	春と秋	江戸時代	江戸時代	5.0	40.0	3.0	3.0
B	松浦市 御厨町 西木場免	自分	2年に1回	正月前	築100年	築100年	4.7	23.0	0.8~1.3	2.0
B	松浦市 御厨町 西木場免	業者	年1回	10月頃	大正6年	築80~90年	3.9	35.0	2.0	1.0
B	松浦市 御厨町 西木場免	業者	年2回	4月と10月	昭和37年	昭和37年	2.4	79.0	1.3	0.9
B	松浦市 御厨町 大崎免	自分	年2回	6~7月と11月	昭和7年	昭和7年	4.7	50.0	1.2	2.1
B	松浦市 星鹿町 岳崎免	業者	年2回	盆と正月前	昭和24年	昭和24年	3.4	38.0	1.3	1.3
B	松浦市 星鹿町 岳崎免	自分	年1回	11月10~20日頃	昭和22年	昭和22年	5.4	80.0	1.0	-
B	松浦市 御厨町 高野免	業者	年1回	10月	築100年	築100年	2.5	66.6	2.0	1.0
B	松浦市 御厨町 高野免	業者	年1回	11~12月	築250年	築250年	4.0	77.0	1.0	1.8
B	松浦市 御厨町 前田免	自分	年1回	11月頃	昭和30年	昭和46年	2.6	40.0	0.7	1.0
B	松浦市 御厨町 前田免	業者	年1回	お盆前	築120年	築120年	6.0	66.0	2.5	1.0
B	松浦市 御厨町 小船免	業者	年2回	10月頃	築100年	築100年	3.0~6.0		0.6~0.8	-
B	松浦市 御厨町 前田免	業者	年1回	正月前	昭和16年	昭和16年	5.0	69.6	3.0	2.5
B	松浦市 志佐町 里免	業者	年1回	10月頃	昭和45年(母屋)	昭和45年(母屋)	1.5~2.0	73.3	0.8~1.0	-
B	松浦市 志佐町 高野免	業者	年2回	10月頃	明治24年	明治24年	3.2	53.0	1.8	1.6
B	松浦市 志佐町 高野免	業者	年2回	10月頃	明治24年	明治24年	2.7~2.7	28.7	1.0~1.2	-
B	松浦市 志佐町 池成免	業者	年2回	正月前と盆前	築53年	築53年	2.4~4.3	32.3		0.5~2.5
B	松浦市 志佐町 池成免	業者	年2回	10月頃	昭和23年	昭和23年	2.4~2.7	37.9	0.8~1.3	1.0~2.0
B	松浦市 志佐町 池成免	自分	年1~2回	10月頃	昭和23年	昭和23年	2.9	31.5	1.2	-
B	松浦市 志佐町 池成免	自分	年2回	6月と11月	築80年	築20~30年	1.8~4.2	165.0	1.8	-
B	松浦市 志佐町 笛吹免	業者	年1回	近年やっていない	築150年	築150年	2.9	38.7	1.1	3.6
B	松浦市 志佐町 笛吹免	業者	年1回	10月頃	築150年	築150年	2.6	58.8	1.2	-
B	松浦市 志佐町 西山免	自分	年1回	盆前か正月どちらか	昭和17年	昭和17年	2.5~3.0	171.0	0.6~0.7	0.0~1.6
B	松浦市 志佐町 西山免	自分	年1回	7月頃(盆前)	大正6年	大正10年	1.2~1.9	55.8	0.8~1.0	1.2~1.4
B	松浦市 志佐町 西山免	自分	年1回	7月中旬	築50年	築100年	1.9~3.5	68.6	0.7~1.1	0.6~0.9
B	松浦市 御厨町 板橋免	自分	年1回	10月頃	築80年	築80年	1.6~3.0	65.8	0.5~1.0	1.0~1.9
B	松浦市 御厨町 板橋免	自分	2年に1回	10月頃	築200年	明治25年	2.7~7.0	58.5	1.2~1.9	1.0
B	松浦市 調川町 中免	自分	年1回	7月頃	築100年	築20年	2.6~4.4	52.8	0.6~0.9	0.3~1.05
B	松浦市 調川町 松山田免	自分	年2回	盆と正月前	築35~40年	築35~40年	1.2~2.0	48.3	0.8~0.9	1.2~1.9
B	松浦市 御厨町 郭公尾免	自分	年1回	6~8月頃	築60年	築60年	2.4~3.4	73.8	1.6	1.0~2.2
B	松浦市 調川町 松山田免	自分	年1回	10~11月頃	昭和3年	昭和3年	3.4	40.4	1.8	0.6
B	松浦市 調川町 松山田免	家族	年1回	10月頃	昭和48年	明治時代頃	3.7	66.5	1.2	1.8
B	松浦市 今福町 東免	自分	年2回	盆と正月前	築100年	築40年	2.1~3.1	55.3	0.7~1.0	-
B	松浦市 今福町 木場免	業者	年2回	盆と正月前	築130年	築130年	1.6~1.7	47.3	1.1~2.1	1.1
B	松浦市 御厨町 川内免	業者	年1回	10月頃	昭和22年	昭和22年以前	5.7	36.5	2.4~3.0	0.7
B	松浦市 志佐町 栢木免	業者	年1回	10月頃	築30年	築100年以上	3.6~5.4	41.3	1.0~1.2	1.6
C	松浦市 星鹿町 下田免	自分	年1回	10月頃	昭和49年	昭和49年	2.0~3.0	104	1.0	0.2~0.7
C	松浦市 御厨町 前田免	業者	年1回	10月頃	築10年	築10年	5.0	50.4	2.2	1.2
C	松浦市 御厨町 西田免	業者	年1回	10月頃	築10年	築10年	5.0	38.5	2.0	-
C	松浦市 志佐町 白浜免	業者	年1回	10月頃	築14年	築20年	2.0~3.1	102.3	0.7~0.9	-

生垣のみ 60件中17件

生垣と石垣 60件中39件

生垣とブロック塀 60件中4件



ひゃーしの機能や周辺環境にもたらす効果

ヒアリング調査結果

「海辺や山側からの強い風を防ぐ」

「イヌマキは比較的手入れがしやすく、燃えにくい」

(所有者B氏／90歳男性)

「風除けとしてひゃーしを設けており、南側からの風を防ぐ」

「夏場はひゃーしがあるおかげで涼しい」

(所有者D氏／67歳男性)

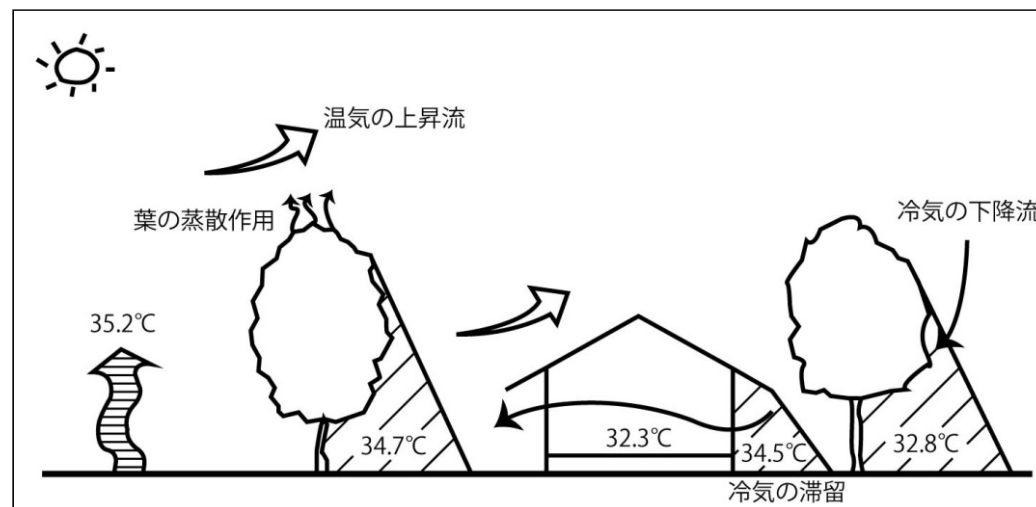
「元々は防風林で農場に植えることもある」

「外から家の中が見えないようにする」

(所有者E氏／90歳男性)

松浦住まいづくり研究会による既往研究成果

- 緑陰による日射量の抑制
- 外部からの放射熱の遮断、侵入制御
- 輻射熱の放射防止
- 外から内への気流の発生



(引用) 松浦住まいづくり研究会研究成果 [一部加筆]

国内の著名な生垣や屋敷林との相対比較

→既に価値が明確化された生垣や屋敷林との比較によりひゃーしの価値評価を行った。

事例	所在地	気候・地形的特徴	歴史的経緯	生垣の分布範囲	生垣の規模	樹種
ひゃーし	長崎県松浦市	・太平洋型気候 ・冬季は、侵食谷の影響で強い北風が吹く。	・少なくとも江戸時代後期には存在していたと思われる。	・平成25年1月現在で92件が確認されている。	・最も高いもので7m、長さでは約200mのものがある。	・イヌマキ ・ツバキ ・カイヅカイブキ
築地松	島根県出雲市	・日本海型気候 ・冬季は日本海から強い北西風または西風が吹く。	・築地松が文献にあらわれるのは明治末期からである。	・平成25年2月現在で1516件が確認されている。	・母屋の棟の高さを超える約8mで刈りそろえられている。	・クロマツ ・スタシイ ・マテバシイ
いぐね	岩手県、宮城県、福島県など (太平洋側)	・太平洋型気候と内陸性気候 ・奥羽山脈から強い季節風が吹き下ろす。	・仙台平野には少なくとも江戸時代初期にいぐねが存在していた。	・「いぐね」という呼称は岩手、宮城、福島の太平洋岸の諸県に多く確認されている。	・屋敷林として家屋の周囲に植えられており、家屋群は見えず自然樹形の森林の景観をもつ。	・スギ ・ケヤキ ・ヒノキ ・ツバキ ・オニグルミ
かいによ	富山県 (砺波平野)	・砺波平野の南側の山地から強風が吹き下ろす。 ・春にはフェーン現象により南西から強風が吹き下ろす。	・かいによの起源については定かではなく、開拓時に原生林の一部を残したものとも、防風林や日よけとして植えたとも言われている。	・砺波平野の散居村地帯の広さは約220km ² 、散居民家は約7000戸存在する。	・スギ、ケヤキ、エノキなどの高木だと8~30mのものがある。	・スギ ・ケヤキ ・エノキ ・ミズキ ・ヒサカキ ・カキ ・ビワ ・イチョウ ・ウメモドキ ・キャラボク



島根県(<http://www.pref.shimane.lg.jp/>)



仙台市(<http://www.city.sendai.jp/>)



砺波市(<http://www.city.tonami.toyama.jp/>)

- 比較結果より「気候・地形的特徴」について、気候区分や地形条件はそれぞれで異なるものの、どの地域も同様に強風の吹く気候であることが分かる。
- ひゃーしの優位性を実証する結果は得られなかったものの、国内での著名な生垣や屋敷林と同等の価値を付与できる可能性が示された。

調査結果より明らかとなった価値

— 歴史的価値 —

- 平戸藩の武家屋敷には少なくとも江戸時代後期から高生垣が設けられ、幕藩体制の解体以降地方農家にもそうしたひゃーしの文化が広がっていったことが明らかとなった。
- 現存するひゃーしは石垣上に配されているものが全体の半数を占め、造成当時の構成のまま残っている可能性も高く、当時の屋敷や庭の面影を知る貴重な歴史的資源と評価される。

— 機能・環境的価値 —

- 所有者に対するヒアリング調査より、ひゃーしは防風や防火、目隠し、風・気流の調整等の機能を有していることが把握された。
- ひゃーしと住環境との関係から、夏場の室温上昇の抑制など、熱環境の改善効果が窺える。

— 相対的価値 —

- ひゃーしの優位性までは実証できなかったものの、国内での著名な生垣や屋敷林と同等の価値を付与できる可能性が示された。
- 保全活用やブランド化など、今後のまちづくりに向けた調査課題として指摘できる。